国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

Press Release

令和２年 10 月６日

協和キリン株式会社との共同研究において、がん治療のための新規抗体の創出に成功
独自の高機能抗体デザイン技術「エピトープ均質化抗体パネル」の実用化に向けて始動

医薬基盤・健康・栄養研究所（NIBIOHN）は、協和キリン株式会社(協和キリン)とがん治療を目的とした抗体医薬品の開発を目指して、共同研究を行ってまいりました。この共同研究を通じて得られた抗体について、NIBIOHN はこのたび協和キリンと新薬創出に向けて更なる研究を進めることに合意しましたので、お知らせします。

近年、創薬シーズの枯渇により創薬標的の探索や標的抗原に対する抗体医薬品を探索することが増々難しくなってきています。両者は、これまでに共同研究契約を締結し、新規がん治療薬となり得る抗体を探索してまいりました。このたび、「エピトープ均質化抗体パネル」を用いて得られた標的抗原に対する抗体について、がん治療に有用な可能性がある新規抗体を見出しました。今後、更なる研究を進める予定です。

※１　エピトープ

抗体が結合する標的部分。一般にエピトープは標的の小さい一部であり、異なる抗体は、それぞれのエピトープに結合し異なる機能を示す。

※２　エピトープ均質化抗体パネル（NIBIOHN 特許技術）

標的上のすべての機能エピトープ領域を網羅した、最小個数の抗体群を表す。これにより抗体機能を最小限の抗体数で探索し同定することが可能となる。

詳細は下記の URL をご参照ください。

https://www.nibiohn.go.jp/cddr/research/project02.html

○医薬基盤・健康・栄養研究所について

2015 年 4 月 1 日に医薬基盤研究所と国立健康・栄養研究所が統合し、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所として設立されました。本研究所は、メディカルからヘルスサイエンスまでの幅広い研究を特長としており、我が国における科学技術の水準の向上を通じた国民経済の健全な発展その他の公益に資するため、研究開発の最大限の成果を確保することを目的とした国立研究開発法人として位置づけられています。

詳細は、https://www.nibiohn.go.jp/をご参照ください。

○協和キリン株式会社について

協和キリンは、がん、腎、免疫疾患を中心とした領域で、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使して、画期的な新薬を継続的に創出し、開発・販売をグローバルに展開することにより、世界の人々の健康と豊かさに貢献する、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとなることを事業ビジョンとしています。

詳細は https://www.kyowakirin.co.jp/をご覧ください。

- **本件に関する問い合わせ先**

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
医薬基盤研究所 創薬デザイン研究センター
バイオ創薬プロジェクト・プロジェクトリーダー
鎌田　春彦
kamada@nibiohn.go.jp
〒567-0085　大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
TEL: +81-72-641-9814, FAX: +81-72-641-9884